

「保健医療科学」  
第68巻 第1号 予告

**特集：Recent topics in public health in Japan**

Mother and Child Health Policy in Japan: Healthy parents 21 (仮題) .....	大澤絵里, 他
Recent measures in geriatric oral health care in Japan (仮題) .....	三浦宏子, 他
National plan of action for health promotion and primary prevention of NCDs in Japan: Health Japan 21 (2nd edition) (仮題) .....	横山徹爾
Challenges and Action on environmental health for the Tokyo Olympic Games and Paralympic Games in 2020(仮題) .....	阪東美智子, 他
Application of economic evaluation of pharmaceuticals and medical devices in Japan (仮題) .....	福田敬
Current issues surrounding the policy and research of long-term care: Towards promotion of evidence-based policy (仮題).....	増井英紀, 他
Research and Development of Intractable & Rare Diseases in Japan: Contribution of the National Institute of Public Health to the Research Program Management (仮題) .....	武村真治, 他
Patient Safety toward UHC in Japan (仮題) .....	種田憲一郎

**編 集 後 記**

約30年ぶりとなるWHO国際疾病分類 (ICD) の改訂がいよいよ迫ってきており, 国内導入に伴って公衆衛生分野を中心に様々なところへの影響が考えられる. これまで, ICDの第11改訂に関して日本語でまとめたものがなかったことから, 本特集が編集できたことは極めて重要であると考えられる.

マスコミではゲーム依存症に関する報道が目につくが, ICD-11においてはすべての医学領域それぞれにおける新しい医学知識が盛り込まれるとともに, 医療安全や伝統医学などの新しい分野も加わった. また, エクステンションコードを用いた修飾など, 情報学的な考え方や技術も取り入れられている. 医療における標準化では, ULMS, HL-7, FHIR, CDISC, SS-MIX, SNOMEDなど, さまざまなコードが乱立している. ICD-11がこれらをまとめる要になることを期待する. ICD-11は電子カルテからの利用など電子的な提供が基本となることから, 世界的な診断支援による医療の標準化にも貢献するものとなるであろう.

本特集が読者の皆様にとって有用な情報となり, また国内におけるICD-11導入にお役に立てば幸いである.

(研究情報支援研究センター 水島洋)